

項目	観点	教科書名		
		新しい社会(2・東書)	小学社会(17・教出)	小学社会(116・日文)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を養うために、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間内に扱う内容に合わせて、「〇〇さんの話」やそれに関連した資料があり、見比べたり読み比べたりしながら、学習問題に迫れる構成になっている。 ・第5学年の「〇〇さんの話」のいくつかには、QRコードでインタビュー動画のリンクがあり、補足説明を聞くことにより学びを深めることができる。 ・全単元に、単元のめあてや小単元の学習問題の記載があり、本時のめあても「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」で示され、問題解決的な学習が進めやすいよう工夫されている。 ・学びを広げるQRコンテンツがあり、学習内容に関連したリンクページが用意されている。 ・今日的課題を特設ページやページ内のトピックとして提示し、学習課題を様々な多角的に考察できるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元に関連する分野で活躍している人物の「〇〇さんの話」を複数紹介し、多様な立場の考えに触れられるようになっている。また、児童の対話文など他の資料も活用しながら多角的に考えられるよう、工夫されている。 ・巻末にSDGsと単元の関連を明記している。学習をSDGsの視点から振り返り、地域や社会の在り方について主体的に考えることができるようになっている。 ・QRコードから多様な資料を閲覧でき、多角的な見方を養い、「自分で調べて考える」主体的な学習を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関連する「見方・考え方コーナー」を設定し、社会的事象同士の関連について考えたり、多角的に考えたりできるよう工夫されている。 ・単元終末の「学び方・調べ方コーナー」では、これまで学習してきたことをまとめたり、深めたりするために多様な「表現する」方法をとり上げ、学習を「ひろげる」ことができる。 ・巻頭ページでは、問題解決的な学習の進め方を見開き2ページで説明し、本文ページの下欄に「脚注インデックス」を設定し、身に付けたい力として示されている。 ・特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」では、社会的事象と関連する「SDGsの目標シール」を貼り付ける活動により、主体的・個別最適な学習を促している。 ・各単元ごとにQRコードが集約されており、必要なコンテンツを取り出すことができる。
2 内容の程度及び取り扱いについて	社会的な見方・考え方を働かせるために、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方や考え方を「時間や空間的な広がり」「時期や時間の経過」「事象や人々の相互関係」で分類し、問いの例示がある。また、比較検討や分類・整理といった考え方が提示され、児童が社会的な見方や考え方を活用することが出来るように工夫されている。 ・各学年の巻末には「学んだことをふり返ろう」があり、社会的な見方や考え方や学習してきた内容について、学習内容の確認や知識の構造化が図れるようになっている。さらに、第6学年の巻末は「中学校に向けて」のページがあり、今後の社会科学学習の見通しをもてるように工夫されている。 ・第4学年の「自然災害から人々を守る活動」では、千葉市の風水害を取り上げ、学習段階の最終場面「いかす」では、「マイタイムライン」を作成することで、自分事として捉え、地域防災への意識化が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方の働かせ方のヒントを、巻頭と単元の中でキャラクターのふき出しで例示してある。太字にして見やすくなっている。児童が、その視点や方法に沿って思考できるよう工夫されている。 ・社会的な「選択・判断」や、地域や社会のこれからについて「構想」する場面を「つなげる」として取り上げ、発展学習の充実を図っている。 ・毎時間の学習問題を、「この時間の問い」として提示することで、本時の視点が明確になっている。 ・第4学年の「自然災害から人々を守る活動」では、地震を取り上げている。選択として水害も同程度の分量を取り扱い、地域に応じた学習が展開できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を育むための視点・方法として、空間・時間・関係の視点を示し、本文中に登場する児童たちから出てきた見方・考えから、自分の考え方に取り入れて考えられるような工夫がなされている。 ・「見方・考え方」のそれぞれの視点についてQRコンテンツが付与されており、関連したコンテンツを活用することで、「見方・考え方」を身に付ける工夫がなされている。 ・各学年の「学習をふり返って」では、SDGsの目標とかかわりがあることや、身につけた力をインデックスに合わせてふり返る工夫がなされている。 ・第4学年の「自然災害から人々を守る活動」では、「風水害」をとり上げている。選択課題として「地震」と「津波」をとり上げ、地域の実態に応じて選ぶことができる。また、学習資料として、「火山」「雪」による災害をとり上げている。
3 構成・配列・分量	教材の配列、分量には、どのような特色があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の4つの段階が設定されており、それぞれの段階に本時の「めあて」や「学びのポイント」による活動例が記載されている。 ・各学年の巻頭に見開きで前学年で学んだことと当該学年で学ぶことが掲載され、学習内容の連続性や関連性が分かり、見通しをもつことができるようになっている。 ・オリエンテーションのページでは、イラストや図を見開きで配置している。各ページでは、学習の補助となる資料が多数掲載され、ページ内のQRコードから図版や写真等の関連資料を見ることができるようになっている。また、QRコンテンツの掲載により、教科書の軽量化やICTの活用が図られている。 ・5・6年生の教科書は2冊に分冊され、軽量化の工夫が見られる。6年生は、分野別に「歴史編」「政治・国際編」で構成されている。 ・各学年の巻頭に「まなびのコーナー」の一覧がある。また、ページ内には「まなびのコーナー」や「教科かんれんマーク」があり、学び方の支援や他教科との関連が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、「前学年の学習の振り返り」「学習の進め方」「社会科で使う見方・考え方」が提示してある。 ・見通しをもって単元の学習に臨むことができるように、現在の学習場面を確かめられる「インデックス」として提示している。毎時の終末には「次につなげよう」という問いを提示し、次時の学習に見通しをもてるような構成となっている。 ・選択教材では、主教材に加え、2～4の事例を主教材と同様の展開で示している。地域の実態に応じて選択し、調べ学習等ができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページでは、当該学年での学習内容が写真やキャラクターの発言（吹き出し）で紹介されており、学習内容の見通しをもつことができる構成となっている。 ・「学び方・調べ方コーナー」では、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」学習活動により、観察力・資料活用能力や表現力を習得しながら学習を進める構成となっている。 ・本文を3つの役割に分け、学習の展開や流れをつかみ、疑問を解決するための資料を活用して調べたり、考えたりし、友達の考えを知ることで自分の考えと比較できるようになっている。
4 表記・体裁	用語や写真、使用上の便宜等については、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文には独自の教科書体を用いて可読性の向上を図っている。語句の説明や学びのポイントなどにはユニバーサルデザインフォントを用い、使い分けをしている。 ・写真や図版、各種資料の色調を柔らかくしたり、模様や形、線種などを併用することで判別しやすくし、カラーバリエーションにも配慮している。 ・3・4年の教科書の巻末には、教科書に出てきた用語の索引と教科書内で取り上げた都道府県の位置を明示した日本地図が掲載され、学習場面や復習で活用できるようになっている。 ・5・6年生の教科書の巻末には、「ことがら」「地名」「国名」別の索引があり、学習場面に応じて活用できるよう工夫されている。 ・各QRコードには、リンクの内容を小見出しで提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年の歴史ページでは、白黒写真をカラー写真として掲載し、当時の出来事をより身近にとらえ、児童の関心と学習意欲を高めている。 ・読みに困難さや色覚の個人差に配慮した、UDデジタル教科書体やカラーユニバーサルデザインを使っている。 ・社会科用語等を「キーワード」として側注欄に記載し、読解に負担がかからないように平易な解説となっている。 ・想像図や写真などの資料を大きく取り上げたり、部分拡大したりして、児童が主体的に読み取るための手立てとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文のフォントのサイズを大きくし、UDデジタル教科書体を取りいれている。 ・地形図やグラフでは、色だけではなく、斜線やドット柄も使用している。 ・見開き2ページに写真、年表、図表、用語の解説等を豊富に掲載し、本文と資料を関連させながら読み取りができるように配慮している。 ・中心となる資料を大きく示し、両側に補助的な資料を配置するレイアウトにしている。 ・絵や写真は、児童が着目しやすくなるよう、細分化して掲載されている。